



# 花に教わる 季節の移ろい

「春はあけぼの、夏は夜  
…」

日本人なら誰もが習う枕草子のフレーズにもあるように、日本の言葉は季節や天気に関係したものが多くあります。



才見町  
坂東 愛佳さん

わが家の庭は、お庭と兼用ということもあり、たくさんの樹木や草花を植えています。そうして草木を育てていると、日本の気候の移り変わり、そしてそれを表す言葉の豊かさに改めて感心することが多々あります。

今年3月から4月にかけて雨が多く、庭の水やりがとてども楽だったのですが、そういう雨を「木の芽起こしの雨」と言うそうです。なるほど雨が止み、何日間か日が差すと、木々のあちらこちらからひよこひよこ

と新芽が頭を出してくるの  
が分かります。  
そうかと思えば春先の長  
雨を「菜種梅雨」と呼ぶこ  
ともあり、確かに菜の花が  
咲くころに雨が多かったな  
と気付いたり、今年は春に  
なっても毎日寒かったせい  
か、桜が咲くころに一時的  
に寒くなるという「花冷え」  
をあまり感じなかったな、  
と思ったり。

また、先日感心したのは、  
昨年友人から「5月1日は  
すずらんの  
日なんだ  
よ」と株を  
分けてもら  
ったすずら  
んのこと。  
春先に温度  
が上がらず  
小さいまま  
で、今年ひよつとしたら  
花を付けないかもと思つて  
いたので、5月1日の  
のぞいてみると、ちやあんと  
かわい顔を下に向け鈴  
なりに咲いていました。

これから夏にかけ、阿南  
市の花でもあるひまわりの  
シーズンになります。少し  
立ち止まって沿道の花や空  
を眺めてみるのもいいかも  
しれません。

次は、才見町の田浦由理  
さんをお願いします。

## 市民文芸

### 短歌

阿南市春季  
短歌大会選

#### 市長賞

庄野 悦子

菜の花のあふれんばかりの黄  
の向こう何を背負うか若きお  
遍路

#### 大会賞

臣永 悦子

畑打つを見守りくるる尉鶴ひ  
かりの中の一羽とひとり

#### 文化振興賞

川口 節子

海の色残すいわしの干物焼き  
少し早めのひとりの夕餉

#### 互選賞

西崎まき子

両手あげ春陽浴びればひろび  
ろと青き空あり農捨てるなど

#### 入選

西田 修身

探梅や有らぬ方さす道標谷の  
向こうに老爺火を焚く

#### 入選

矢野 道子

木洩れ日の揺るるカーテン明  
るみて惜しみなく散る春を写  
せり

#### 入選

近藤美智子

夕映えの草の紅葉に影長く老  
いの此の身に添いて付き来る

### 中学生短歌のポスト入選歌

福井中学校 岨 展大

空眺めふとあらわれたマイナ

ス思考春の香りがとまどいを  
消す  
岨 大雅

桜舞うさみしく思う僕がいて  
見て癒される僕もまたおり  
大開 真

桜若葉に心地よい風吹き始め  
夏の足音背中に感じる  
四宮 彩花

身支度し鏡の中の我を見る動  
き始めた新たな一年  
新野中学校 畠山 愛理

端に咲く精いっぱいいたんぼ  
ぽが私のペダルを軽くしていく  
藤川 薫

シャボン玉いつかあの中入り  
たいふわふわ飛んで旅を満喫  
折野 僚紀

春の水口にじゅわつと広がっ  
て自然でいいなうまいと感じ  
阿地さくら

別れの日悲しい心でおめでと  
う笑顔で言うよ卒業式に

### 俳句

阿南市俳句  
連合会選

鯉幟夢に向ひて孫歩む  
田中 畦道

ひい孫に勝てぬ「かけっこ」  
こどもの日  
有賀 義子

植え終えし早苗に風のやわら

かく  
森岡 美風

官邸やドロンに目醒春朝  
田中 織女

草萌えや散歩の媪足軽し  
柏 孝則

夕散歩足取り軽し里若葉  
大西 裕子

四五分の鉱山鉄道青葉風  
水口 明美

百足這う一分の隙間見逃がさ  
ず  
近藤ヤス子

十葉を軒に広げる山暮し  
吉原 春水

平凡に老ひてふたりの青すだれ  
阿南川柳会  
高木旬笑選

地に落ちず天に届かぬとこに  
居る  
橋本 征介

休肝日誘惑に負け持つジョッ  
キ  
岡本 福笑

舞い踊れやがては風になる命  
佐藤つたえ

親の想いしよって重たいラン  
ドセル  
臣守 愛香